

2011年度総会議案書

第1号議案 2010年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

第2号議案 2011年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

2011年5月24日

国際ファッションセンター

112 会議室

イベント学会

第1号議案

第1号議案 2010年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

(1) 2010年度活動報告

(2) 2010年度決算書

2010年度 主な活動履歴

- 4/ 8 理事・役員選挙開票
- 4/ 9 2010年研究大会実施計画会議 (JEPC 関西本部)
- 4/12 第2回シラバス研究会 (12名参加・JACE 会議室)
- 4/28 2010年研究大会第3回実行委員会 (TSP 太陽西日本営業部)
- 4/30 第27回金曜サロン (28名参加・JACE 会議室)
- 5/11 イベント JAPAN2010~12日 (パシフィコ横浜)
- 5/12 2010年度理事会・総会 (パシフィコ横浜)
- 6/ 7 第3回シラバス研究会 (13名参加・JACE 会議室)
- 6/ 8 2010年研究大会実施計画会議 (国立民族学博物館)
- 6/ 9 " (大阪市中央公会堂)
- 6/23 2010年研究大会実施計画会議 (万博記念機構)
- 6/25 第28回金曜サロン (22名参加・JACE 会議室)
- 7/ 1 会報イベントロジエ23号発行、2010年度助成研究募集開始
- 7/ 7 法人会員活動連絡会議・七夕サロン (27名参加・JACE 会議室)
- 7/16 2010年研究大会第4回実行委員会 (博報堂関西支社)
- 8/18 研究大会参加証発送 (大阪事務局)
- 9/ 1 研究大会オールスタッフミーティング (大阪市中央公会堂)
- 9/ 3 2010年研究大会開催 (大阪市中央公会堂)
- 9/ 4 " (国立民族学博物館)
- 9/17 2010年度研究助成審査会 (JACE 会議室)
- 10/ 5 上智大学公開講座「イベント学入門」開講
- 10/ 7 2011年研究大会検討会議 (東京ミッドタウン)
- 10/29 第29回金曜サロン (21名参加・JACE 会議室)
- 11/19 第1回運営会議・イベントマネジメント研究会 (JACE 会議室)
- 11/26 会報イベントロジエ24号発行
- 12/24 第30回金曜サロン (クリスマス・28名参加・JACE 会議室)

(2011年)

- 1/11 上智大学公開講座「イベント学入門」閉講 (会員講師9名を紹介)
- 1/28 第31回金曜サロン (新年賀詞交歓会・35名参加・JACE 会議室)
- 2/14 2011年研究大会検討会議 (上智大学)
- 2/18 金曜サロン IN 大阪 (29名参加・大阪府大 中ノ島キャンパス)
- 2/25 2011年研究大会会場視察・検討会 (両国KFCホール)
- 2/25 第32回金曜サロン (24名参加・JACE 会議室)
- 3/16 2011年研究大会検討会議・第2回運営会議 (JACE 会議室)
- 3/24 2011年 (第14回) 研究大会第1回実行委員会 (上智大学)

(1) 2010年度活動報告(案)

2010年研究大会

- 会期：2010年(平成22年)9月3日(金)～4日(土)
- テーマ：～イベントが都市を創造する～《 BETTER EVENT BETTER CITY 》
- 実行委員会：委員長(橋爪紳也副会長)副委員長(間藤芳樹理事、桑田政美会員)

【一日目：9月3日(金)】

- 会場：大阪市中央公会堂(大阪市北区中ノ島1-1-27)
- 後援：大阪市
- 協力：(社)日本イベント産業振興協会、一般社団法人日本イベントプロデュース協会
日本イベント業務管理者協会
- プログラム

13:30	「開会宣言」	橋爪紳也 大会実行委員長(イベント学会 副会長)
13:35	「来賓挨拶」	平松邦夫 大阪市長
13:40	「基調講演」	堺屋太一(イベント学会 会長) ～BETTER EVENT BETTER CITY～
14:40	「シンポジウム」	～都市再発見、まち歩き型イベントの可能性～ モデレーター：橋爪紳也(イベント学会 副会長) パネリスト：宮本倫明「えひめ町並み博」総合プロデューサー 長谷川孝徳「かなざわ・まち博」推進者&研究者 オダギリサトシ：「大阪旅めがね」プロデューサー
16:30	「大阪まち歩き」	①「中之島界限」 ②「北船場界限」
18:00	「交流パーティ」	中之島セントラルタワー3階「カフェテリア」

【二日目：9月4日(土)】

- サブテーマ：《 万博のあゆみと未来 》
- 会場：国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)
- 協力：国立民族学博物館、財団法人千里文化財団、(社)日本イベント産業振興協会
一般社団法人日本イベントプロデュース協会、日本イベント業務管理者協会
- プログラム

10:00～12:00	「口頭発表」	研究発表者11組 18名
13:00～13:10	「歓迎の言葉」	国立民族学博物館館長 須藤健一
13:10～14:00	「特別講演」	橋爪紳也(イベント学会副会長) 「70年万博の遺伝子」～イベントの進歩と調和～
14:00～16:30	「シンポジウム」	～EXPOの文化遺伝子ミームは今?～ モデレーター：橋爪紳也(イベント学会副会長) パネリスト：吉田憲司(国立民族学博物館教授) 嘉門達夫(シンガーソングライター) ヤノベケンジ(現代美術作家)

②研究助成

募 集：7月1日募集開始～締め切り8月31日

審 査：9月17日審査会開催、発表：9月20日

報告発表：2011年6月下旬および9月8日（研究大会時）

（助成対象研究）

研究者	研究テーマと助成金
奥 正孝（京都嵯峨芸術大学講師） 猪池雅憲（太成学院大学講師） 阪岡裕貴（松竹芸能㈱）	ウェディングに関する実態調査研究 (10万円)
平家良美（㈱京都総合研究所） 大石祥子（㈱京都総合研究所）	古都・京都における“温故知新”イベントの可能性に関する一考察 (10万円)
斉藤 理（上智大学/慶応義塾大学講師）	建物公開イベントに関する、各施設側の意識調査・実態調査 (10万円)

③イベント学研究会と大学等支援

◎「イベントマネジメント研究会」11月19日・12名 イベントの評価指標の研究

◎「シラバス研究会」4月12日12名・6月7日13名 イベント学科の創設に向けて

◎上智大学公開講座「イベント学入門」後援と講師紹介（会員9名）、10月～1月に10講座実施。

④交流サロン

「金曜サロン」4月30日（28名）、6月25日（22名）、10月29日（21名）

12月24日（28名）、2月18日（29名・大阪）、2月25日（24名）

「交流イベント」7月7日（七夕サロン/法人会員暑気払い・27名）

1月28日（新春サロン・35名）

⑤広報活動

「会報イベントロジー第23号」：7月1日発行。2010年度活動計画紹介、研究大会参加者募集

「会報イベントロジー第24号」：11月1日発行。研究大会特集

「学会Web」：研究大会、イベント学研究会、金曜サロン、交流イベントの参加者募集

研究助成募集、報告書・発表論文掲載、会員情報掲載、フォトギャラリー

「メールマガジン」：イベント学会ニュース（毎月初旬定期配信）

「イベント JAPAN2010」5月11日～12日（パシフィコ横浜）ブース出展、

「イベント学のすすめ」「会員著作物」などの紹介

⑥その他

・ イベント関連団体との連携活動

JACE（日本イベント産業振興協会）、JEPC（日本イベントプロデューサー協会）

JEDIS（日本イベント業務管理者協会）とともにイベントJAPAN2010に参加。

また研究大会の開催に際して各団体より運営支援などの協力を得た。

(2) 2010年度決算書(案)

2010年度決算書

自 10年 4月 1日 至 11年 3月 31日

収入の部			
科目名	10年度予算	10年度決算	差額
入会金収入	400,000	395,000	-5,000
年会費収入 個人	1,380,000	1,330,000	-50,000
年会費収入 準会員	50,000	10,000	-40,000
年会費収入 自治体会	50,000	50,000	0
年会費収入 法人会員	6,300,000	6,600,000	300,000
事業収入 研究大会	450,000	902,000	452,000
事業収入 交流サロン等	420,000	410,810	-9,190
受取利息	0	584	584
当期収入計	9,050,000	9,698,394	648,394
前期繰越	2,636,893	2,636,893	—
収入合計	11,686,893	12,335,287	648,394
支出の部			
科目名	10年度予算	10年度決算	差額
事業費 研究大会	2,500,000	3,535,360	1,035,360
事業費 年次大会	0	0	0
事業費 広報事業	1,400,000	1,387,564	-12,436
事業費 研究助成	440,000	368,459	-71,541
事業費 交流サロン等	420,000	363,401	-56,599
給与・通勤費	1,650,000	1,620,614	-29,386
会議費	600,000	573,533	-26,467
旅費交通費	700,000	521,436	-178,564
消耗品費	60,000	58,956	-1,044
通信運搬費	355,000	508,003	153,003
印刷費	290,000	249,930	-40,070
賃借料	420,000	500,000	80,000
資料費	50,000	29,600	-20,400
謝金	20,000	19,000	-1,000
会場費	0	42,000	42,000
支払手数料	15,000	19,745	4,745
雑費	130,000	133,095	3,095
当期支出計	9,050,000	9,930,696	880,696
当期収支差額	0	-232,302	-232,302
収支差額	2,636,893	2,404,591	-232,302
次期繰越差額	2,636,893	2,404,591	-232,302

貸借対照表
2011年 3月 31日 現在

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
現預金	2,404,591	2,636,893	-232,302
資産合計	2,404,591	2,636,893	-232,302
II. 負債の部			
負債合計	0	0	0
III. 正味財産			
1. 正味財産増減の部			
当期正味財産増減額	-232,302	1,117,360	-1,349,662
正味財産期首残高	2,636,893	1,519,533	—
正味財産期末残高	2,404,591	2,636,893	-232,302

残高証明書

みずほ銀行 ¥1, 143, 561
 ゆうちょ銀行 ¥1, 261, 030
 合計¥2, 404, 591

残 高 証 明 書

イベント学会 様

平成 23 年 3 月 31 日 現在

金額合計	¥1, 143, 561※
------	---------------

種 類	番 号	金 額 (円)	摘 要
普通預金	1694891	1,143,561	以下余白

貴ご名義勘定の残高は上記の通りでございます。
 平成 23 年 4 月 1 日

(注) この証明書の金額は訂正いたしません。
 預金の残高には他店券によるご入金分も含まれております。

株式会社みずほ銀行
 麹町支店
 006854



振替口座残高証明書

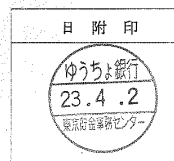
口座番号	00120 - 0 - 357450
------	--------------------

加入者名	イベント学会
------	--------

平成23年3月31日 現在の口座現在高

***** 1,261,030 円

上記のとおり証明します。



イベント学会 会長 塚屋 太一様

監 査 報 告 書

2010年度の事業報告書および計算書類は、

適正かつ妥当であることを認めます。

2011年4月8日

イベント学会 監事 園田 榮治

園田 榮治 

イベント学会 監事 原田 周平

原田 周平 

第2号議案

2011年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

(1) 2011年度活動計画（案）

(2) 2011年度予算書（案）

(1) 2011年度活動計画(案)

◎基本方針

- 1) 大学、教育機関、研究機関との連携を図る交流活動と創造活動の展開
イベント学会の設立趣旨である「イベント研究の推進」と諸科学横断的な「交流の場」創造を目指して、大学や専門学校等の教育機関、政府や自治体の研究機関、企業・団体の研究部門、他の学会、イベント関連団体との連携活動を促進する。
- 2) 学会活動への会員の参加促進と新規会員の獲得
「イベント学研究助成金制度」や「イベント学研究会」を通じて、会員の研究活動の促進を図り、「研究大会」や「テーマ研究会」、「学会 Web」での発表機会を拡充する。
また、「金曜サロン」などの「交流サロン」を定期的に各地で開催し、会員相互の交流と同時に会員と非会員の交流を図りながら新規会員の獲得を目指す。
- 3) 東日本大震災からの復興を目指してイベントが果たすべき役割を探り 新しいイベントを提言してゆく「復興イベント研究会」を発足する。

①2011年(第14回) イベント学会研究大会

趣 旨: 2008年の「イベント学会10周年記念大会」のテーマ「イベントイノベーション」を中長期的テーマとして継承し2009年の横浜市、2010年の大阪市、国立民族博物館などの自治体、諸機関と連携し、イベントによる社会変革を発信してゆく。

開催要領: 別紙参照

予 算: 300万円

② 研究助成

趣 旨: イベント学研究振興のため、会員に研究費を助成する。

予 算: 40万円(3件程度)

募集期間: 6月1日から7月末

結果発表: 9月初旬

報告会: 2012年6月下旬

冠助成制度: 「復興イベント」などの特定テーマの研究助成について、助成金やデータベースの提供を法人会員に呼びかけ、冠助成制度の導入を検討する・

③ イベント学研究会と大学等支援

趣 旨: イベント学の研究推進と会員相互の交流を図るため、前年度に引き続き特定テーマを設定のうえ研究発表、意見交換を行う。また、大学など教育機関が行うイベント学講座を後援して会員を講師として紹介し、イベント学科創設に向けた支援活動を行う。

テーマ研究会: 「イベントマネジメント研究会」「復興イベント研究会」「中国イベント研究会」

大学等支援: 上智大学秋期公開講座への後援と講師紹介

予 算: 25万円(5回程度) 懇親会参加費は一人1,000円。

④ 交流イベント（金曜サロン、交流サロン）

趣 旨：イベントに関連する技術、商品、サービスなどの情報を会員間で共有すると同時に、非会員との交流を図りながら新規会員獲得を目指す。

また、イベント産業への就職を志望する学生などに向けて法人会員の社員が企業と仕事を紹介する就職サロンを開催し産学の交流に寄与する。

会場地：東京、大阪など

予 算：30万円（年間6回程度）懇親会参加費は一人1,000円。

⑤ 広報活動

趣 旨：会員の参加を得て研究発表や寄稿などのコンテンツを積極的に発信し、会員相互の交流と学会活動のPR、新規会員獲得を目指す。

メディア：「会報イベントロジー」

・研究大会特集を11月に発行。イベント関係団体、関連学会にも配布。

「学会Web」

・研究大会、イベント学研究会、交流イベントの参加者募集、会員の活動紹介を中心に広報活動の柱とし会員参加による交流メディアとして寄稿などを募集する。また研究助成論文などを掲載することによりデータの共有化とアーカイブ化を目指す。

「メールマガジン」「学会Facebook」

・交流イベントの開催告知などカジュアルな情報を随時発信する。

予 算：140万円

⑥ 2011年上期活動カレンダー（4月～9月）

- ・4/18「研究大会実行委員会」（上智大学）
- ・4/19「イベントジャパン2011」～4/20（東京ビッグサイト）
- ・4/22「4月のキンサロ」（日本イベント産業振興協会会議室）
- ・5/24「2011年度総会」「理事会」（東京国際ファッションセンター）
- ・5/25 研究大会発表者募集開始～6月末締切
- ・5/27「中国イベント研究会」（日本イベント産業振興協会会議室）
- ・5/27「5月のキンサロ」（日本イベント産業振興協会会議室）
- ・6/1「2011年度助成研究」募集開始～7月末締切
- ・6/中「イベントマネジメント研究会」
- ・6/24「6月のキンサロ」（日本イベント産業振興協会会議室）
- ・7/1 研究大会参加者募集開始～8/15締切
- ・7/7「法人会員活動連絡会議」「七夕サロン」
- ・7/初 会報 イベントロジー25号発行
- ・7/15「金曜サロン IN 京都」
- ・7/下 研究大会パブリシティ活動開始
- ・9/7「第14回研究大会」～9/8（東京国際ファッションセンター）
- ・9/下 イベント学会事務局移転

(2) 2011年度予算書(案)

2011年度予算書

自11年4月1日至12年3月31日

収入の部		
科目名	10年度決算	11年度予算
入会金収入	395,000	300,000
年会費収入 個人	1,330,000	1,400,000
年会費収入 準会員	10,000	30,000
年会費収入 自治体会	50,000	0
年会費収入 法人会員	6,600,000	6,200,000
事業収入 研究大会	902,000	900,000
事業収入 交流サロン等	410,810	300,000
受取利息	584	0
当期収入計	9,698,394	9,130,000
前期繰越	2,636,893	2,404,591
収入合計	12,335,287	11,534,591
支出の部		
科目名	10年度決算	11年度予算
事業費 研究大会	3,535,360	3,000,000
事業費 年次大会	0	0
事業費 広報事業	1,387,564	1,400,000
事業費 研究助成	368,459	400,000
事業費 交流サロン等	363,401	300,000
給与・通勤費	1,620,614	2,350,000
会議費	573,533	500,000
旅費交通費	521,436	400,000
消耗品費	58,956	100,000
通信運搬費	508,003	500,000
印刷費	249,930	300,000
賃借料	500,000	300,000
資料費	29,600	30,000
謝金	19,000	30,000
会場費	42,000	100,000
支払手数料	19,745	15,000
雑費	133,095	150,000
当期支出計	9,930,696	9,875,000
当期収支差額	-232,302	-745,000
収支差額	2,404,591	1,659,591
次期繰越差額	2,404,591	1,659,591